

一般質問通告書

受領日時 令和7年8月20日 午前8時20分

3番 氏名 伊藤 信子

質問項目	質問の要旨
1 農業機械への助成金について	(1) 本町の基幹産業である、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっており、特に高齢化や担い手不足の影響から作業の効率が急務となっております。 その一方で、農業機械の価格は高額であり、導入にあたっては経済的なハードルが非常に高いのが現状です。 秋田県内や近隣市町村の中には、農業機械の購入に対して、助成金を出している自治体もあり、若手農業者の定着や生産性の向上に寄与していると伺っております。 近隣の井川町では、農業機械導入に対して色々な条件をクリアした場合最高額 150 万まで助成する制度を設けており、地域農業の維持、活性化に大きく貢献していると伺っています。 五城目町においても、こうした施策の導入は有効だと考えます。 ① 農業機械の購入、更新に対する助成制度の導入について、また、高齢農業者や新規就農者への支援として、機械導入支援の必要性をどのように捉えているのかお聞かせください。 ② 今後、町独自の支援策の導入や県、国の制度の活用を視野に入れた、具体的な検討状況があればお聞かせください。 地域の農業を守り将来にわたって、持続可能な産業とするためにも農業機械導入に対する支援制度は今後の重要な政策課題だと考えます。町として積極的な検討をお願いし、制度設計に向けた議論を進めていただくことを要望いたします。

2 腹部超音波検査について	(1) 地域住民の健康診断における腹部エコー検査の導入と充実について。 近年、肝臓、膵臓、腎臓などの疾患の早期発見に有効とされる腹部エコー検査の有用性が広く認知されています。特に高齢化が進む本町において、健康寿命の観点からも定期検査に腹部エコー検査を取り入れることは、重要と考えます。 五城目町でも 2 年前から井川町、大潟村がモデル事業として、湖東厚生病院で行われていますが、あまりにも、実施できる件数が少なすぎて、予約の電話をしてもう 30 分くらいで締め切られる状況でした。 そこで以下の点について伺います。 ① 現在の住民健診における腹部エコー検査の実施状況は ② 腹部エコーを健診項目に加えることにおいて、町の見解は ③ 実施に向けての課題と対応策は何か ④ 近隣自治体での導入状況や、取組み事例で把握しているか
----------------------	---